

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	久米川保育園
日時	2024/8/9(金)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

自然・・・0歳児「寒天ゼリーを触ってみよう」

<テーマ設定理由>

光を受けきれいに光る黄色、青色の寒天ゼリーは子どもにとって興味があるものに思われる。「これなあに？」という気持ちから自分で触ろうとする。子どもが触れてみることでその冷たさや手触りを楽しむことができるようにし、手や足などで思う存分触ったり、握ったり、スプーンでかき混ぜたりする中で子どもなりに感触を楽しむ遊びになることを願って設定した。

## 2. 活動スケジュール

- ・日頃からいろいろなものに触れて感触を楽しむ遊びを取り入れている。
- ・食紅を混ぜて寒天をつくる様子を見る。
- ・タッパーに入れて蓋をした状態から始める。
- ・まずは何も言わずに自分から触って遊び始められるようにする。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

保育室の床の上にシートを敷き、その上に新聞紙を置く。  
寒天ゼリーはタッパーに入れて冷やしておく。  
他、かき混ぜて遊べるようにスプーンやへらを用意する。

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

黄色、青色の食紅で染めた寒天をタッパーに入れて冷やしておく。ふたをしたまま子どもに見せ「何かな？」というワクワク感を持てるようにする。ふたを開けたときに触ってみようという気持ちを持てるようにする。手や足で触れたときの心地よさ、気持ち良さを感ぜられるようにする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>

◎活動内容

- ・興味をもって側に寄る子ども、自分からは手を出そうとしない子どもがいる。
- ・少しずつそっと開けたタッパーに手を置き触り始める。
- ・次第にたたく・指で突く・掌に載せる・握る・つまむ・かけらを保育者に手渡す等が見られる。指先から掌、両手へと遊びの広がりが見られた。
- ・次に、砕く・つぶす（指から掌へ）・握って器に入れる、出す・スプーンで突く、かき混ぜる・スプーンですくう器から器へ移す・持ち歩く
- ・次第に大胆な遊びへ展開していく。
- ・足にゼリーが付いたことに気づいて払おうとする子どもがいる。
- ・ゼリーの冷たさにおどろいて冷たさに気づく仕草をする。
- ・さらに大胆に自分の足に置いて踏む・踏みつぶす
- ・手だけで触れていたものが足から全身への遊びに変化していく。
- ・そうした中で、冷たい・気持ちいい（心地いい）・ぴちゃぴちゃ音がする・おいしそうと笑顔と共に快の感情を発する表情や仕草が見られ、口に運ぼうとしていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

- ◎始めはタッパーに入った状態で子どもに見せたところ興味をもって近づいて触っていました。
- ◎蓋を開けるとゼリーに触っていましたが冷たい感触に不思議そうに触れている子がいました。
- ◎何度か触って感触が嫌だったのかそれ以降触らない子もいました。
- ◎安心した子はどんどん大胆に触り始めました。手にもっていただけだったのが掌で握りつぶしたりタッパーに手を入れて掴んで器の外に出したりしていました。
- ◎手だけでなく足に載せたりスプーンでかき混ぜたりして遊んでいました。ゼリーで遊ぶことが楽しくなってきたのがわかりました。
- ◎冷たい感触が心地よかったのかずっと手に触れている子がいました。触った感触や冷たさなどを感じて遊びが広がっていきました。
- ◎快の感情を発する表情や仕草が見られ口に運ぶ仕草もありました。これらの様子から感覚としての遊びへ、心地よい感触を楽しむ遊びに変化していったのではないかと思います。
- ◎新聞紙は透明なゼリーの下で文字が透けていたので無地の紙を次回は使うといいのではという意見がありました。
- ◎今後小麦粉など違う感触も楽しみたいと思います。